

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	入学準備金貸付事業	所管	教育委員会教育総務部 教育総務課
			TEL 2998-9232

事業の目的 (何の為に 行うか)	高等学校または大学等へ入学に要する費用の支弁が困難な保護者に対し、入学準備金の貸付を行い、市民に等しく教育を受ける機会を与えることを目的とする。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	申請者数	対象とした数	16	人
		実際に 利用した数	16	人

活動の内容 (何を したか)	広報とところざわを通じ募集を行い、保護者の申請に基づき所沢市入学準備金貸付審査会を経て貸付の適否を決定する。借受人は、6ヶ月の据置期間を経て3年間以内で返済する。貸付の限度額は、高等学校(公立)10万円、高等学校(私立)30万円、大学等40万円である。なお、支出に関しては所沢市入学準備金貸付基金を運用している。								
	活動実績	項目名	貸付者数 高等学校(公立)	3 ----- 単位 人	項目名	貸付者数 高等学校(私立)	6 ----- 単位 人	項目名	貸付者数 大学等

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	0	0	1,879	5.5

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	年度貸付額		7400000 ----- 単位 円	4800000 ----- 単位 円	64.9 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 改善・効率化 * 改善余地なし その他 []			
		終了 ⇒ 事業完了	終了	休止	
	予算	* 現状どおり	増額	減額	終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了				
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []	終了		
	予算	現状どおり	増額	減額	終了

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当部課	部課コード	120100	TEL	2998-9232
事業コード	120107	入学準備金貸付事業	教育委員会教育総務部 教育総務課			
開始年度	昭和 47 年度	→	終了年度	平成 年度		
グループ		教育支援担当				

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 法定受託+附加		根拠法令
	分野別計画・指針							
	関連・類似事業							
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び人・文化をはぐくむまち	施策	2節 学校教育	中柱		小柱
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 6 位		・実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***					
行政改革大綱における行動計画への位置づけ		コード		コード				
事業開始の背景	高等学校または大学等への進学率が増加する中で、入学に要する費用は多額であり保護者の負担が大きいという背景があった。							

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に) 高等学校または大学等へ入学に要する費用の支弁が困難な保護者に対し、入学準備金の貸付を行い、市民に等しく教育を受ける機会を与えることを目的とする。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)				利用数の考え方			
	申請者数				貸付者数			
	対象数	単位	平成 18 年度	18 人	利用数	単位	平成 18 年度	17 人
			平成 19 年度	16 人			平成 19 年度	16 人
事業の具体的な内容及び実施方法								
広報ところざわを通じ募集を行い、保護者の申請に基づき所沢市入学準備金貸付審査会を経て貸付の適否を決定する。借受人は、6ヶ月の据置期間を経て3年以内で返済する。貸付の限度額は、高等学校(公立)10万円、高等学校(私立)30万円、大学等40万円である。なお、支出に関しては所沢市入学準備金貸付基金を運用している。								

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>							
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])						
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)						
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
平成19年度中に改善した点								
高校・大学等の推薦入学の入学金支払時期を考慮し、年2回の審査・交付を行い、従来の貸付時期よりも早く貸付を希望する保護者に対して貸付を行えるように改善した。								

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		0	0	0	
	決算(見込み含む)		0	0		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	
	正規職員人件費		0.20 人	1,840	0.20 人	1,879
	公債費					
	事業費合計		1,840	1,879		
	財源内訳	一般財源		1,840	1,879	0
		国・県支出金				
		受益者負担金				
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)		5.4	5.5			
利用数一単位あたり(単位:円)		108,235.3	117,425.0			

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位		H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	貸付者数 高等学校(公立)		人	/	3	3		
		貸付者数 高等学校(私立)		人		4	6		
		貸付者数 大学等		人		10	7		
	成果分析	目標値		円	7400000	7400000	7400000	7400000	
実績			円	5500000	4800000				
%		達成率		74.3	64.9	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2		1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	特になし				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)		時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定				
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由					
高等学校・大学等への入学に要する費用は高額であり、かつ短期間に準備する必要があるため、保護者の負担は大きい。保護者の負担を軽減させ、市民に等しく教育を受ける機会を与えるために、当事業は重要な意義を有するため、継続していきたいと考えている。					
評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	教育総務課 村上 光利		

⑨評価	一次評価を受けた事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由					
	評価日					
二次評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
評価理由						
評価日						

⑩個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	施策の体系			施策の方向	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	2132
	基本目標	2子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます			
	主要課題	1すべての子育て家庭への支援			
施策の方向	3経済的支援の充実				